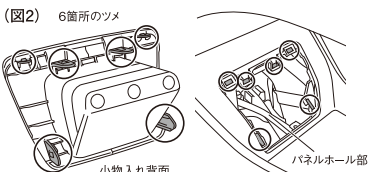
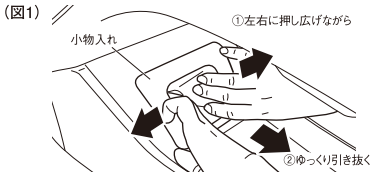
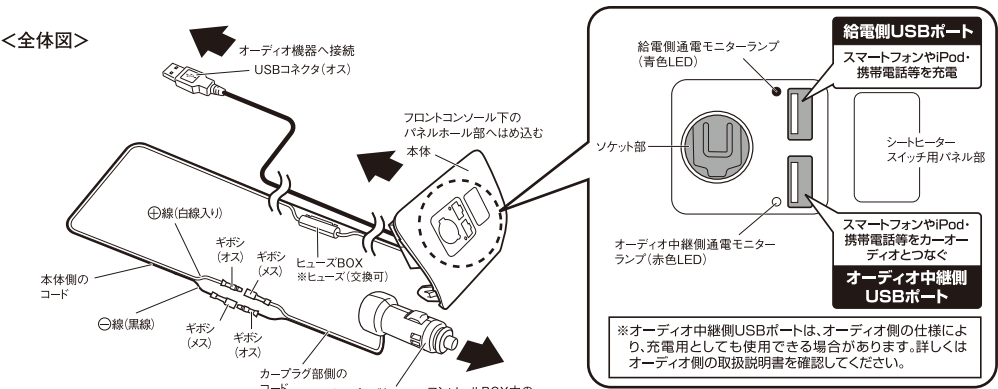


※本製品の取り扱いには、専門知識が必要です。無理な取り扱いは避け、カーディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。その際の工賃・その他費用請求はお受けできません。万一、本製品の不具合発生等で取り付け・取りはずし等が必要になった場合も同様です。自分で作業を行なう場合は自己責任で行なってください。※取り付けの前に必ず本製品の動作確認およびスマートフォン・携帯電話等との接続動作確認をしてください。※接続する機器メーカー独自の仕様やソフトウェア変更(OSバージョンアップ等)に起因する接続認識動作につきましては保証いたしかねます。※フロントコンソール下が小物入れではない車の場合、パネルの取りはずし方が異なります。(シートヒーター装着車の場合、シートヒータースイッチの脱着が必要となります。)取りはずしはディーラーまたはカー用品専門店等へ依頼してください。※必ず車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で作業をしてください。※必ず安全な場所に停車して行なってください。※取りはずしたパネル等は、なくさないよう大切に保管してください。※コードを引っばらず、コードが挟まったり断線したりしないように取り付けてください。※カーオーディオ・接続機器の設定・配線は、それぞれの取扱説明書を参照してください。※内装やギボシ端子を傷つけないよう注意してください。

車両への取付方法

<全体図>

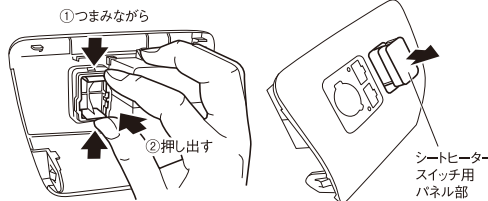


小物入れを取りはずす

- フロントコンソール下の小物入れを取りはずします。小物入れを左右に押し上げながら、ゆっくり引き抜きます(図1-①・②)。小物入れは6箇所(図2)で固定されています。
注意 ・シートヒータースイッチ装着車の場合は、コードの断線等に注意しながら取りはずしてください。
・取りはずす際は、内装を傷つけないよう注意しながら、ゆっくりはすしてください。
- カーオーディオからのUSBコネクタ(メス)(別途用意してください。)を本製品のUSBコネクタ(オス)へ接続します。(図3)
注意 ・USBコネクタには押し込む向きがあります。無理矢理押し込まないでください。
・USBコネクタは奥までしっかりと押し込んでください。無理に押し込んだり、引き抜いたり、傾ける等の押し込み不良があると故障の原因となります。

シートヒータースイッチ用パネル部の取りはずし方

本製品の背面にあるシートヒータースイッチ用パネル部のツメ(2箇所)をつまみながら押し出し、取りはずします。



通電確認をする

- ・本製品への通電確認をしてください。カーブラグ部の取付方法を参照し、アクセサリソケットにカーブラグ部を挿し込んでください。給電側通電モニターランプ(青色LED)が点灯します。(図4)
- 注意** ・オーディオ中継側通電モニターランプ(青色LED)は本製品のUSBコネクタ(オス)に給電機能のあるUSBを接続した場合のみ赤色に点灯します。

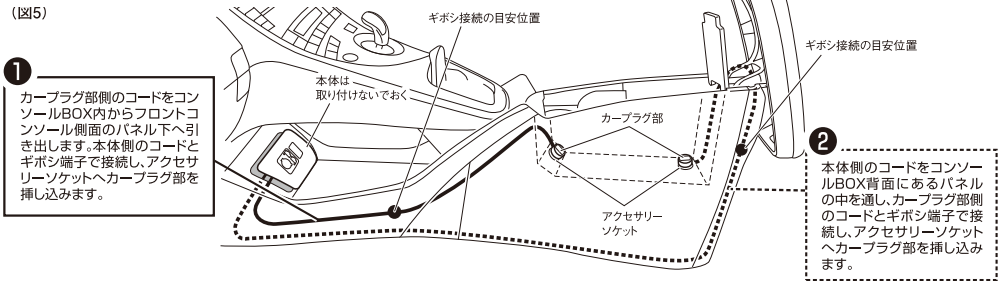
配線をする

※本体をパネルホール部へ取り付けの前に、配線をしす。

- 配線がしやすいよう、本製品のギボシ端子をはすしてください(図3-①)。本体側のコードをパネルホール部へ通し、フロントコンソール側面のパネル下より引き出しておきます。(図3-②)
注意 ・はずしたカーブラグ部をなくさないよう注意してください。
・ギボシ端子をはす際は、コード(図3)を持たずにギボシ端子同士を持ち、はすしてください。
・本製品は必ずカーブラグ部を使用して配線してください。バッテリーからの直接配線やギボシの直接配線はしないでください。
・コードはギボシで確実に結線し、コード結線部を絶縁テープ等で絶縁してください。

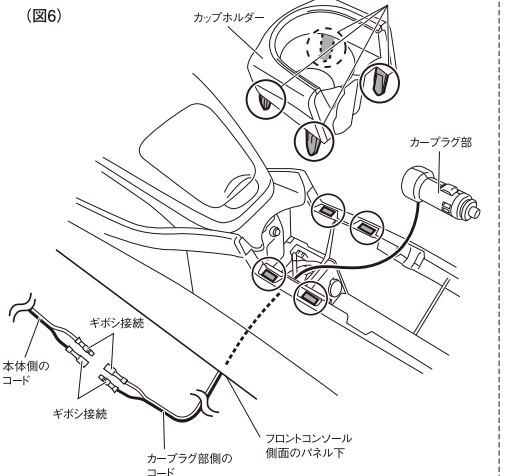
- アクセサリソケットの位置が年式・グレードにより異なるため、配線方法も異なります(図5)。配線・コードの取りまわしをする前に、アクセサリソケットの位置を確認してください。

アクセサリソケットの位置



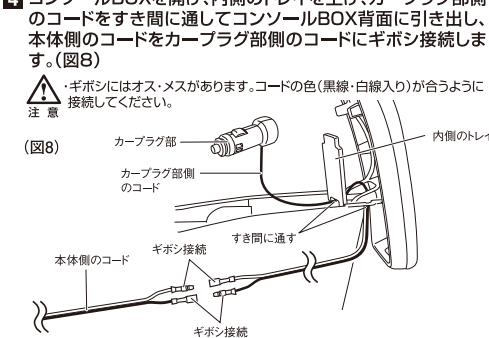
① コンソールボックス内前方にある場合

- コンソールBOXのカップホルダーをゆっくり引き抜いてください。カップホルダーは4箇所のツメ(図6)で固定されています。
- コンソールBOXを開け、カーブラグ部側のコードをコンソールBOX内からフロントコンソール側面のパネル下へ引き出し、本体側のコードにギボシ接続します。(図6)
注意 ・ギボシにはオス・メスがあります。コードの色(黒線・白線入り)が合うように接続してください。



② コンソールボックス内後方にある場合

- コンソールBOX背面のパネルを取りはずします。パネルは6箇所のツメ(図7)で固定されています。
注意 ・ギボシにはオス・メスがあります。コードの色(黒線・白線入り)が合うように接続してください。
- コンソールBOXを開け、内側のトレイを上げ、カーブラグ部側のコードをすき間を通してコンソールBOX背面に引き出し、本体側のコードをカーブラグ部側のコードにギボシ接続します。(図8)
注意 ・ギボシにはオス・メスがあります。コードの色(黒線・白線入り)が合うように接続してください。



※本製品の脱着の際は、安全のために、必ず電装品・接続機器をはすし、アクセサリソケットに通電していない状態で行なってください。

カーブラグ部の取付方法

※図はアクセサリソケットの位置がコンソールボックス内前方にある場合のもので、後方にある場合も同様に取り付けてください。

- 車のエンジンを切った状態(ACCもOFF)で、アクセサリソケット内をよく掃除してください。

注意 ・車のアクセサリソケット内に汚れていると、通電不良の原因となり、発熱・発火等のおそれがありますので、よく掃除してからカーブラグ部を挿し込んでください。

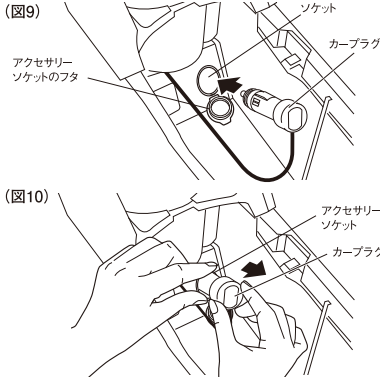
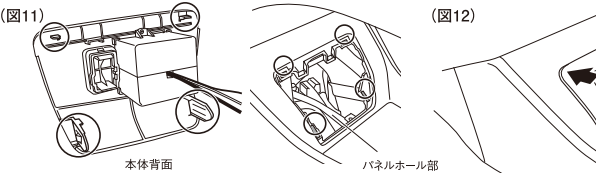
- アクセサリソケットのフタを開け、カーブラグ部を奥までしっかりと挿し込んでください(図9)。確実に挿し込まれていないと接触不良やカーブラグ部が溶解するおそれがあります。

カーブラグ部の取りはずし方法

・カーブラグ部は落下防止のため、固めの設計になっています。カーブラグ部をアクセサリソケットから抜く際は、コードを持たずにカーブラグ部を持って、指でアクセサリソケットを押さえながら徐々に抜いてください。(図10)

パネル類を取り付ける

- パネル類を取り付ける前に、再度通電確認を行ってください。車のACCをONにすると給電側通電モニターランプ(青色LED)が点灯します。(図4)
注意 ・オーディオ中継側通電モニターランプ(赤色LED)は本製品のUSBコネクタ(オス)に給電機能のあるUSBを接続した場合のみ赤色に点灯します。
- カップホルダーまたはコンソールBOX背面のパネル等を取り付けてください。
注意 ・ツメの位置・数を確認しながら取り付けてください。(図6・図7)
・コードを引っばったり、コードが挟まって断線したりしないように取り付けてください。
- 本体をパネルホール部へ取り付けます。本体は4箇所のツメ(図11)で固定します。本体をパネルホール部へ押し込み、ツメのある箇所を奥までしっかりと押し込みます。(図12)



注意 ・本体の取り付けは落下防止のため、固めの設計になっています。取りはずす際には、はすしにくい場合があります。
・コードの断線等に注意しながら、ゆっくりはすしてください。

ソケット部について

ソケット部の使用方法

・ソケット部用フタを開け、電装品等のプラグを挿し込んで使用してください。(図13)

注意 ・電装品等のプラグを挿し込む前に、ソケット部内側をよく掃除してください。発熱・発火等のおそれがあり、大変危険です。
・急発進・急加速・急ブレーキ・急ハンドル・カーブ・車路走行等により、電装品等のプラグとソケット部がゆるみ、確実な通電が確保できなくなる場合があります。使用前に電装品等のプラグがソケット部の奥まで挿し込まれているか確認してください。
・ソケット部用フタを無理に引っばったり、鋭利な物で突いたりすると破損の原因となりますので注意してください。
・ソケット部を使用しない時は、ホコリやゴミの入り込みを防ぐため、ソケット部用フタを閉めてください。

電装品等の取りはずし方法

・ソケット部を押さえながら電装品等のプラグをしっかりと持ち、徐々に抜いてください。
注意 ・ソケット部を持たずに電装品等のプラグのみを抜くと、本製品の脱落・破損の原因となります。

USB充電について

接続機器の使用方法

- USBポート用フタを開けます。(図14)
- 接続機器のUSBコネクタをUSBポートへ接続します。(図14)
※USBコネクタには押し込む向きがあります。無理矢理押し込みます。コネクタの向きを合わせて挿し込んでください。
注意 ・USBポートに接続機器を接続している時に本製品の通電モニターランプが消えた場合は、直ちにUSBポートからUSBコネクタを抜いてください。USBコネクタを抜いた後に通電モニターランプが再度点灯した時は、USBポートのヒューズ切れや故障ではなく接続機器のショートや故障等が発生している場合があります。
・給電側USBポートの周囲温度が40℃を超えると、回路保護のため一時的に通電動作を停止することがあります。温度が動作温度範囲内に戻ると通電を再開します。
・USBコネクタは奥までしっかりと挿し込んでください。無理に挿し込んだり、引き抜いたり、傾ける等の押し込み不良があると故障の原因となります。
・USBポート用フタを無理に引っばったり、鋭利な物で突いたりすると破損の原因となりますので注意してください。
・USBポートを使用しない時は、ホコリやゴミの入り込みを防ぐため、USBポート用フタを閉めてください。

接続機器の取りはずし方法

- 接続機器のUSBコネクタをUSBポートから抜いてください。

注意 ・USBコードを抜く際は、コード(図14)を持たずにUSBコネクタを持ち、本製品を押さえながらUSBコネクタをまっすぐ引き抜いてください。本製品を押さずにUSBコネクタのみを抜くと、本製品の脱落・破損の原因となります。

USBで給電・充電する際の注意

●連続使用時間が長い場合や充電条件により、本製品内蔵の保護回路が作動し、充電が止まったり(USBポート用通電モニターランプが消える)、断続的な動作になる(USBポート用通電モニターランプが点滅する)場合がありますが、回路を保護するためであり故障ではありません。そのような場合は、一旦接続機器を取りはずし、時間をあけて使用してください。●一部の機種では電池残量がゼロの状態では充電ができない場合があります。純正の充電器(家庭用AC)で5〜10分程度充電してから使用してください。●充電時間および充電後の使用時間は、機種・電池(パック)の種類・状態・使用環境によって異なります。●充電中に接続機器を使用しますと充電時間が長くなります。●機種によっては充電しても接続機器側の充電レベルが表示しない・変化しない・満充電にならない場合があります。●本製品の連続使用は2時間までにしてください。充電される接続機器の電池(パック)の寿命の低下につながるおそれがあります。また、USBコードの抜き忘れによる接続機器の破損等の原因となります。●接続機器の充電完了表示に関しては、接続機器に付属されている取扱説明書を確認してください。●接続機器の電池(パック)が古くなっていたり、故障している場合は充電できません。新しい電池(パック)への交換をおすすめします。●30分以下の短時間の充電では電池表示レベルが上がらない場合があります。●本製品・接続機器・電池(パック)が高熱になった場合や発煙・ショートがあった場合には直ちに使用をおやめください。●車のエンジンを切った(ACCもOFF)後は、速やかに接続機器を取りはずしてください。

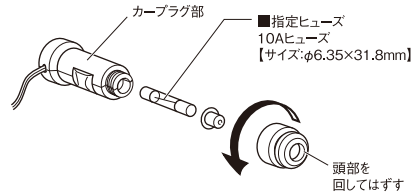
警告 ご使用前に必ずお読みください。

・運転操作やエアバッグ等の作動に支障のないように使用してください。
・異臭・発熱・発煙・発火等の症状がみられた場合は、直ちに本製品を取りはずし、使用をおやめください。
・タバコの火等、火気を近づけないでください。発火の原因となります。
・走行中、運転者は本製品の操作および電装品・接続機器等の脱着・操作はしないでください。事故の原因となります。

注意 ご使用前に必ずお読みください。

・用途以外の目的で使しないでください。
・本製品に強い衝撃を与えないでください。
・確実な通電を確保するために、必ずカーブラグ部を車のアクセサリソケットに奥まで挿し込んでください。使用する電装品・接続機器等のカーブラグもソケット部の奥まで確実に挿し込んでください。また、乗車の度に奥まで挿し込まれているか確認してください。不確実な場合は、発熱や発火等のおそれがあり大変危険です。
・本製品を使用する際には車のバッテリー保護のため必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
・本製品のUSBポートやソケット部に、電装品・接続機器等のカーブラグやUSBコネクタ以外の物(指・金属片等)を挿し込まないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。
・直射日光が当たる場所や、車内温度が0℃以下+40℃以上の時は使用しないでください。結露や熱による誤作動や故障、本体の溶解の原因となるおそれがあります。
・通電モニターランプの光を直視したり、運転者や車外に光を向けたりしないでください。事故の原因となります。
・濡れた手で操作や水分がかかるような状況では絶対に使用しないでください。ショートや感電のおそれがあり大変危険です。
・カーブラグ部をアクセサリソケットに挿し込んだまま回転させないでください。アクセサリソケットやカーブラグ部が破損する場合があります。
・コードに負荷をかける・根元を回す・引っばる・束ねる・重いものをのせる・強く押す等の行為をしないでください。発熱・断線の原因となります。
・心臓ペースメーカーや医療機器等を使用している近くでは、本製品を使用しないでください。本製品使用により動作に影響を与えるおそれがあります。
・本製品使用により車載機器に電波障害やノイズが発生する場合があります。
・本製品の取付時や使用時に生じた事故・破損・故障について当社は一切の責任を負いかねます。
・ヒューズ交換時は、必ず指定のヒューズを使用してください。指定外のヒューズを使用すると、発熱・発火等の原因となります。ヒューズはカーブラグ部の中・本体背面にあるヒューズBOXに入っています(図15)。カーブラグ部の中にあるヒューズが切れていない場合は、本体背面にあるヒューズBOXのヒューズを確認してください(図16)。本体の取りはずしについては(図11・12)のツメの箇所を参照してください。
・砂利道等の振動が多い場所やホコリ・湿気のある場所では使用しないでください。
・本製品の誤った使用・取り付け方、分解・改造・加工等は絶対におやめください。破損・故障・感電・ショートの原因となります。そのような場合による電装品・接続機器等の破損・故障・損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

(図15) 【ヒューズ1】 カーブラグ部の中



(図16) 【ヒューズ2】 本体背面にあるヒューズBOXの中

